

省エネルギー型大気熱処理炉稼働のお知らせ

日本冶金工業株式会社のグループ会社であるナストーア株式会社（ステンレス鋼溶接管、高機能材溶接管の製造・販売）は、同社茅ヶ崎製造所(神奈川県茅ヶ崎市萩園：以下「当所」と表記)の大気熱処理炉を更新し、試運転・品質確認を経た後、起動式を執り行い本格稼働に入りました。

1. 起動式の様子

式典には建設工事関係者および当社関係者を合わせた約30名が出席しました。

社長の藤本和志により起動ボタンが押されることで、溶接管の大気熱処理が開始され、式典は滞りなく完了しました。



起動式

2. 大気熱処理炉更新の概要

当所で保有していた大気熱処理炉（2炉）はステンレス・高機能材の溶接管の固溶化・応力除去を行うための設備ですが、省エネルギーによるカーボンニュートラルへの貢献及び高機能材溶接管(ニッケル合金、スーパーオーステナイト系ステンレス鋼、二相ステンレス鋼等)の品質安定化を目的に、省エネルギー型大気熱処理炉（1炉）に更新いたしました。尚、今回の更新に際しては、一般社団法人環境共創イニシアチブが取り扱う「令和5年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換 支援事業費補助金」の交付が決定されています。

3. 新熱処理炉の特徴・効果

- 省エネ効果：炉構造の改善（廃熱回収、炉内ロール無水化による熱損失低減、断熱性の向上）及び2炉を1炉に集約することで省エネルギーを図り、CO₂ 排出量 319 t-CO₂/年（茅ヶ崎製造所全体の約15%に相当）の削減となります。
- 品質の安定化：炉構造の改善による炉内雰囲気均一化により、従来以上の品質の安定化を図ります。



新熱処理炉

NASグループは今後も省エネルギーの推進により、事業におけるCO₂の排出量を削減し、カーボンニュートラルの実現に向けて努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先： ナストーア株式会社：鋼管販売部 東京支店（電話：03-6895-1370）
大阪支店（電話：06-6231-4441）